

SPAC 秋→春のシーズン 2020-2021 #2

病は気から

The Imaginary Invalid

潤色・演出：ノゾエ征爾

原作：モリエール

(「モリエール全集」臨川書店刊／秋山伸子訳より)

出演：阿部一徳、石井萌水、大高浩一、加藤幸夫
榊原有美、富川一人、本多麻紀、牧山祐大

日 時

一般公演

2021年1月23日(土)、24日(日) 各日14時開演

会場：静岡市民文化会館 中ホール

【ポータブル字幕機による英語・日本語字幕あり】

中高生鑑賞事業「SPACeSHIP げきとも！」公演

SPAC では静岡県内中高生を対象に招待公演を行っています。
今年度はグランシップの工事休館に伴い、県内各地の公共ホールで実施。『病は気から』では、以下3会場にて、3,221人の中高生が鑑賞予定です。

1月14日(木)13:30開演、15日(金)13:30開演

会場：富士市文化会館ロゼシアター 大ホール(富士市)

1月20日(水)10:30開演/14:30開演、21日(木)13:30開演

会場：静岡市民文化会館 中ホール(静岡市)

1月27日(水)13:30開演、28日(木)10:30開演/14:30開演、
29日(金)14:00開演

会場：浜松市浜北文化センター(浜松市)

主催：SPAC-静岡県舞台芸術センター / 共催：静岡市民文化会館
(静岡公演に対し) / 助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



◆あらすじのようなもの

ノゾエ征爾

自分を病気と認めない病気の作家が、病気でないのに病気と信じ込む男の喜劇を作りました。作家は自らこの主人公を演じ、その公演期間中に病気で亡くなりました。実話です。皮肉にも自分自身が一番喜劇な事になってしまったこの作家こそ、モリエール(フランス人)その人。天性の喜劇人・モリエール命がけの(というか死んじゃってるし)遺作喜劇『病は気から』。自分のことで精一杯なちよっとおかしな人々の、ぶぎまで愛しい物語。笑って、この愛すべきモリエールを供養してあげてください。

「SPAC 史上一番笑いに執着した作品に」
演出家ノゾエ征爾が、フランス名作喜劇を
ポップに仕立てた人気作！

ノゾエ征爾が潤色・演出する『病は気から』は2012年、彼が第56回岸田國士戯曲賞を受賞した年にSPACとの初タッグで創作初演され、この度、再再演を迎えます。人間の思い込みとそのおかしみを“笑い”たっぷりでお届けする本作は幅広い世代の共感を呼び、17年の再演でも好評を得ました。また18年、ノゾエは彩の国さいたま芸術劇場にて60歳以上の〈ゴールド・アーツ・クラブ〉総数700人のメンバーとともにこの『病は気から』を大群集劇として上演し、話題を呼んでいます。

自分は病気だと思い込んでいる主人公アルガンをはじめ、自分のことで精一杯なちよっとおかしな人々が繰り広げるドタバタコメディ。モリエールの原作の喜劇的要素はそのままに、ノゾエが得意とする今日的な台詞展開やポップな音楽・衣裳で、老若男女誰もが楽しめる現代劇に仕上げています。

「SPAC 史上一番笑いに執着した作品にしたい」というノゾエの言葉通り、登場人物たちの「真剣さ」「必死さ」が演劇ならではの笑いを巻き起こします。

大作家モリエールの遺作にして傑作、
コロナ禍の今だからこそ触れたい名作喜劇

『病は気から』は、1673年に劇作家モリエールによって書かれ、今なお世界各地で上演され続けています。当時モリエールは自ら主役を演じ、持病の発作すら演技と思わせ客席に笑いの渦を巻き起こしたと言われていました。モリエールはその興行中に亡くなり、自らの最後を“喜劇”で締め括りました。

古典戯曲でありながら今に通ずる人間の滑稽さやおかしみ、そして喜劇に終わらない批判精神も描かれた名作。今回ノゾエは、「普遍性が強い」と惚れ込む原作に“ペストが流行している1673年”という設定を追加。劇中の劇団員はマスクや消毒をし、時にビニール越しのチューも！新キャスト2名を迎え、前回にも増して笑いに貪欲な作品を創り出しています。今だからこそ多くの方にご覧いただきたい、普遍的な魅力に溢れた作品です。

公演についてのお問い合わせならびに取材のご希望は
「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当：坂本」までお願いいたします。

Tel:054-208-4008 / Fax:054-203-5732 / E-mail:sakamoto@spac.or.jp (『病は気から』担当：坂本)

■プロフィール

ノゾエ征爾 (のぞえ せいじ)

脚本家、演出家、俳優。劇団「はえぎわ」主宰。1975年生まれ。青山学院大学在学中の99年に「はえぎわ」始動。以降、全作品の作・演出を手がける。ユーモア溢れる独自の視点で、役者や空間を活かす豊かな演出が魅力。2012年、『〇〇トアル風景』で第56回岸田國士戯曲賞受賞。映画やTVドラマなど俳優としても多数出演。16年、さいたまスーパーアリーナで高齢者1600人出演の1万人のゴールド・シアター 2016『金色交響曲～わたしのゆめ、きみのゆめ～』の脚本・演出を手がけた。近年の演出作品に、音楽劇『トムとジェリー～夢よう一度～』、東京芸術祭2019野外劇『吾輩は猫である』、PARCO Production『ボクの穴、彼の穴。』、新国立劇場『ピーター&ザ・スターキャッチャー』など。



モリエール Molière (1622年～1673年)

17世紀フランスの劇作家。古典主義の三大作家の1人とされる(ほかの2人はコルネイユとラシーヌ)。1622年パリに生まれ、オrléansの大学で学んだ後、劇団座長として地方の旅回りをする中で、喜劇作品を書き始めた。故郷パリに戻った数年後の62年、『お嫁さんの学校』が大評判となりその名が知られるようになる。モリエールの作品が宮廷でも強い支持を得たことで、演劇ジャンルとしての喜劇の人気を高めた。モリエールの死後、80年にルイ14世によってコメディ・フランセーズが創設された。代表作は、『ドン・ジュアン』(65)、『人間嫌い』(66)、『病は気から』(73)など。

チケット 全席指定

一般:4,200円 / ペア割引:3,700円(2名様で1枚につき)

ゆうゆう割引:3,500円[満60歳以上]

学生割引:2,000円[大学生・専門学校生]/1,000円[高校生以下]

※その他、グループ割引、障がい者割引がございます。

チケットお取扱い

SPAC チケットセンター TEL.054-202-3399

(10:00～18:00)

公式サイトでもご購入いただけます。

お問い合わせ

SPAC-静岡県舞台芸術センター

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡 2-3-1

TEL:054-203-5730 FAX:054-203-5732

E-mail:mail@spac.or.jp

SPAC 公式サイト <https://spac.or.jp>

公演についてのお問い合わせならびに取材のご希望は

「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当:坂本」までお願いいたします。

Tel:054-208-4008 / Fax:054-203-5732 / E-mail:sakamoto@spac.or.jp (『病は気から』担当:坂本)

【関連事業】

●私のあしながおじさんプロジェクト

地元団体・個人の皆さまのご協力のもと、普段、劇場に足を運ぶ機会が少ない方々を劇場にご招待し、演劇鑑賞の体験を届けるプロジェクト。2017年に県内中高生を対象にスタートし、その後、親子での観劇をコンセプトに「私のあしながおじさんプロジェクト for Family」として継続的に実施。今シーズンは13組30名の親子が鑑賞予定です。

参加対象者: 就学援助を受けている家庭

ひとり親家庭支援を受けている家庭

*児童生徒だけでも申込・観劇できます。

*客席は隣席と十分な間隔を保ちます。

<ご来場のお客様へご協力のごお願い>

●ご来場前に体調チェックをお願いいたします。(発熱等ある場合はご来場をご遠慮いただきますようお願いいたします。)

●ご来場の際はかならずマスクの着用をお願いいたします。

●会場入口にて、サーモグラフィ/非接触型体温計にて検温を行いません。37.5度以上の場合はご入場をお断りいたします。

●来場者カードへのご記入、提出をお願いいたします。(万が一感染が発生した場合、保健所等の公的機関に提供する場合がございます)

[詳細はウェブをご覧ください]



2017年 写真:猪熊康夫



2012年 写真:三浦興一